

業務用油だき可搬形ヒータ放射式直火形

バルシックス  
**VAL6 SR**  
バルシックス エスアール

# 取扱説明書



- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、ヒータを正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。



## もくじ

まえがき	2	5. 保管方法	14
1. 特に注意していただきたいこと	4	6. 故障・異常時の処置方法	15
2. 各部の名前	7	7. 仕様	16
3. 使用方法	9	8. 安全ラベルの一覧	17
3-1. 運転準備	9	9. アフターサービス	18
3-2. 運転操作方法	10	10. 別売部品について	19
3-3. 運転モードの説明	12		
4. 点検方法	13	巻末：保証書・お客様窓口	
4-1. 日常の点検と手入れ	13		
4-2. 定期点検	14		

この度はスズオカのパルシックスをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

## まえがき

◎ この取扱説明書には、このヒータを安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は **⚠危険**、**⚠警告**、**⚠注意** に区分されています。

表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。



**危険**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の可能性が想定される内容を表示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ 「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◎ 文章の横にあるマークは次のように表しています。

	<b>禁止</b> (このマークは、禁止の行為であることを表します。)
	<b>強制</b> (このマークは、行為を強制したり指示したりする内容を表します。)
	<b>注意</b> (このマークは、注意を促す内容があることを表します。)



## 重要なお知らせ

---



### 警告

- .....
- このヒータは家庭用として使わないでください。火力が強いため、密閉した場所で使用すると火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
  - このヒータの操作および点検・手入れを行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
  - 部品を交換される場合には、必ず静岡製機（株）の純正部品をお使いください。純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - この取扱説明書に従わなかったり、誤用や改造が行われたことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



### 注意

- .....
- 本製品は「裸火」に該当します。不特定多数の人が出入りする場所で使用するときは、消防署の許可を取ってお使いください。
    - ・ 百貨店の売り場、顧客の出入りする場所
    - ・ 劇場、公会堂、集会場の舞台、客席（上記以外は使用地域の消防署にお問い合わせください）
- .....
1. 近年、産業機械には、新しい加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。このヒータの取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。そのため、この取扱説明書の記載事項やヒータに表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。従って、ヒータの操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載およびヒータ本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
  2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店（以下販売店という）または、最寄りの弊社営業所（巻末に記載）にお問い合わせください。
  3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、販売店までご連絡ください。
  4. この取扱説明書は、大切に保管してください。



## この取扱説明書の目的と構成について

---

.....





この取扱説明書の目的は、業務用油だき可搬形ヒータ VAL6 SR（バルシックス エスアール）について、ヒータの正しい操作および点検・手入れの方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。







.....

# 1 特に注意していただきたいこと

安全のため、必ずお守りください。

\* 下記の項目は、このヒータをお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。

 <b>危険</b>			
1	<b>ガソリン厳禁</b>	ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	
2	<b>可燃性ガスの発生する場所での使用厳禁</b>	可燃性のガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPGなど）を使っている場所や置いてある場所では、ヒータを絶対に使用しないでください。引火して爆発し、火災、やけどをするおそれがあります。	
3	<b>換気必要</b>	換気を十分に行えない場所では使用しないでください。換気せずに使用し続けしないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は必ず換気をして新鮮な空気を補給してください。	

 <b>警告</b>			
1	<b>スプレー缶厳禁</b>	スプレー缶など密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し、ケガをすることがあります。	
2	<b>可燃性粉じん厳禁</b>	可燃性粉じん（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。ヒータ内に吸い込まれると加熱され火の粉になって吹き出されるので火災の原因になります。	
3	<b>高温部に注意</b>	燃焼中や、消火後約30分間は放熱部、及び放熱部周辺に手など触れないように注意してください。やけどします。	
4	<b>改造使用の禁止</b>	改造して使用しないでください。故障・火災等の原因になり危険です。	
5	<b>感電注意</b>	感電するおそれがあります。雨水、雪などのかかる場所や湿度の高い所では使用しないでください。日常の点検、手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	

## 安全のため、必ずお守りください。

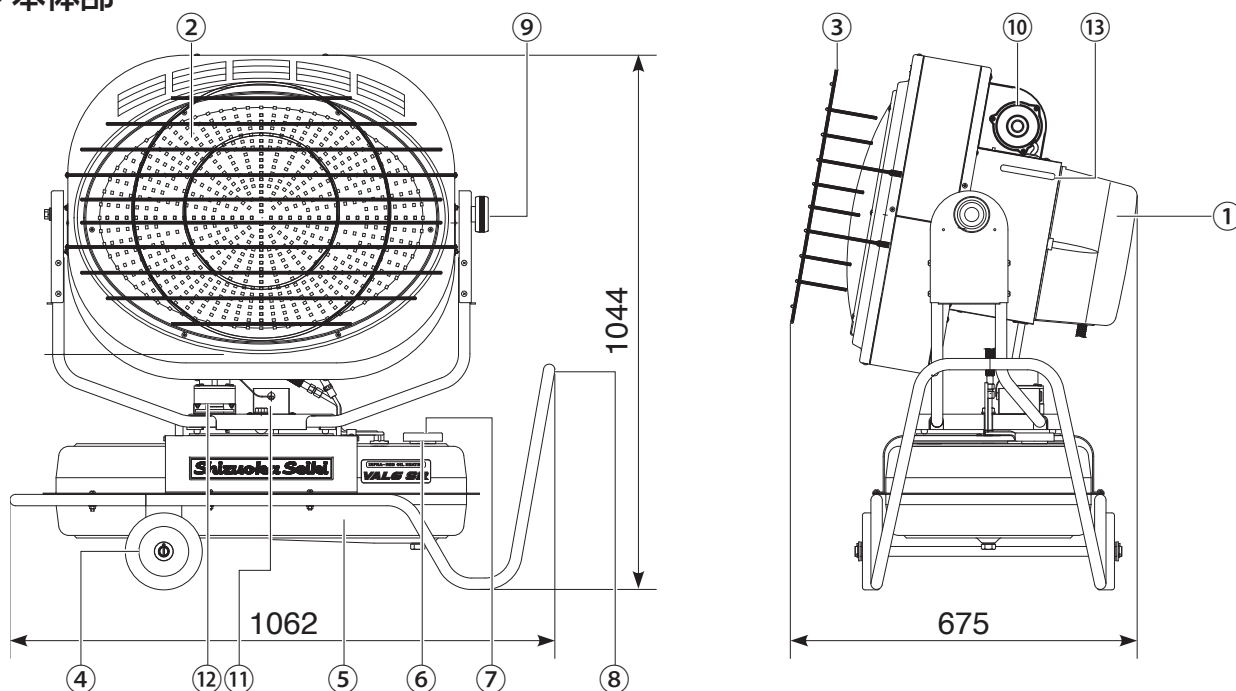
 <b>注意</b>			
1	<b>可燃物からの距離確保</b>	可燃物は放熱部の前方及び上方から2.5m以上、左右側方及び後方から2m以上離してください。火災の原因になります。	
2	<b>遮へい物不可</b>	放熱部前方1m以内には、遮へい物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。	
3	<b>点火操作の繰り返し禁止</b>	点火操作を4回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。	
4	<b>床面高温注意</b>	ヒータを使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。木製床で使用する場合は、必ず別売のミラーシートをご使用ください。	
5	<b>標高の高いところでの使用禁止</b>	標高800m以下で使用してください。800mを超える場所で使用すると異常燃焼や火災の原因になります。	
6	<b>冷えた状態で角度調整</b>	角度調整するときは、ヒータが冷えた状態で行ってください。高温部に触れるとやけどします。	
7	<b>異常時使用禁止</b>	におい、煙の発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。	
8	<b>燃焼中移動禁止</b>	ヒータを火の付いたままで移動しないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると火災の原因になります。	
9	<b>消火時の注意</b>	電源プラグをコンセントから抜くときは、運転ランプが消灯したことを確認してください。	
10	<b>給油時消火</b>	給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。	
11	<b>電圧注意</b>	電源は、単相交流100V (90~110V以内) で使用してください。火災・感電・故障の原因になります。	
12	<b>アースコード未接続での使用禁止</b>	アースコードを接続してください。接続しないで使用すると感電のおそれがあります。	
13	<b>電源プラグ引き抜き注意</b>	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って行ってください。電源プラグが損傷し、感電やショートして発火することがあります。	

安全のため、必ずお守りください。

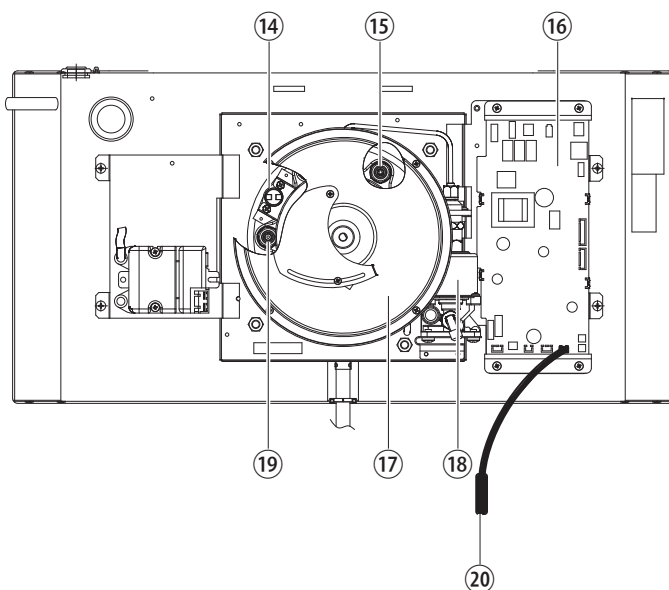
 <b>注意</b>			
14	<b>電源コード 破損注意</b>	電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工しないでください。また、重いものを載せるなど破損の原因となることは避けてください。火災・感電の原因になります。	
15	<b>消火の確認</b>	消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。	
16	<b>使用時の周囲温度 に注意</b>	ヒータを使用するときは、 $-20^{\circ}\text{C}$ ～ $30^{\circ}\text{C}$ の周囲温度でお使いください。特に、周囲温度が $30^{\circ}\text{C}$ 以上になりますとヒータが過熱され、火災の原因になります。	
17	<b>ヒータ使用場所の 制限（次の所では 使用しない）</b>	<p>災害・傷害等を未然に防止するために、次のような場所では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用床面が振動する場所。</li> <li>● 使用床面が傾斜している場所（水平でない場所）</li> <li>● 階段、非常口（避難口）、部屋の出入口等。</li> <li>● 周囲に不安定な積荷のある場所。</li> <li>● 風の強い場所や、湿気の多い場所、ほこり・金属粉の浮遊している場所。</li> <li>● その他、人の移動に障害となる場所等。</li> </ul>	
18	<b>軍手着用</b>	本体を掃除するときは、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。	
19	<b>保管、廃棄する時の 油抜き</b>	長期間使用しないとき、または保管、廃棄するときには、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。	
20	<b>廃棄時の不法投棄 禁止</b>	ヒータを廃棄するときは、必ず専門業者に依頼してください。絶対に不法投棄はしないでください。	
21	<b>譲渡時の「取説」 添付の励行</b>	ヒータを譲渡するときは、「取扱説明書」を必ず添付してください。	
22	<b>無人運転時の注意</b>	サーモ運転を行った場合、自動的に無人状態でも着火します。放熱部前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物がないか確認してください。火災の原因になります。	
23	<b>別売部品取付時の 注意</b>	別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部が電装部品に触れますと、感電、破損のおそれがあります。	
24	<b>輸送時の注意</b>	燃料を入れたまま輸送しないでください。転倒や振動により油タンク内の燃料が漏れて火災の原因になります。	

## 2 各部のなまえ

### ◆ 本体部

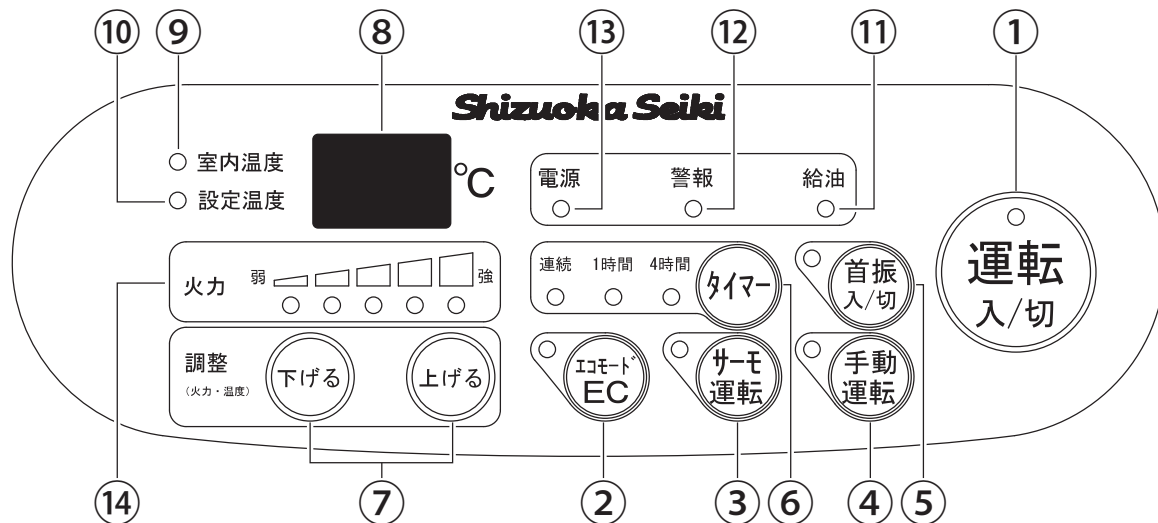


### ◆ バーナ部



- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ① バーナカバー             | ⑪ 感震器 (中に感震器、安全キー) |
| ② 放熱部                | ⑫ 旋回モータ            |
| ③ プロテクター             | ⑬ 上下可変ハンドル         |
| ④ 車輪                 | ⑭ 過熱防止器            |
| ⑤ 油タンク               | ⑮ フレームロッド          |
| ⑥ 油量計                | ⑯ 制御基板             |
| ⑦ 給油口ふた (中に給油口ストレーナ) | ⑰ 燃焼ファン            |
| ⑧ ハンドル               | ⑱ ポンプ              |
| ⑨ ノブボルト              | ⑲ 点火プラグ            |
| ⑩ サーキュレーター           | ⑳ 室内温度センサー         |

## ◆スイッチ部



- ① 運転 入/切 点火および消火に使用します。  
運転中はランプが点灯し、運転スイッチ「切」による消火中（冷却中）は点滅します。
- ② エコモード EC エコモードにて運転するときに使用します。  
エコモードにて運転中は、ランプが点灯します。
- ③ サーモ運転 サーモ運転するときに使用します。  
サーモ運転中は、ランプが点灯します。燃焼停止中は点滅します。
- ④ 手動運転 手動運転するときに使用します。  
手動運転中は、ランプが点灯します。
- ⑤ 首振 入/切 首振り運転に使用します。  
首振り運転中は、ランプが点灯します。
- ⑥ タイマー タイマーを設定するときに使用します。  
設定されているタイマー時間のランプが点灯します。
- ⑦ 調整ボタン (火力・温度) 手動運転中の火力設定およびサーモ運転中に温度を設定するときに使用します。
- ⑧ 表示部 運転中は室内温度を表示します。温度設定時は設定温度を表示します。  
室内温度がマイナスのときは「Lo」と表示します。  
異常が発生したときはエラーコードを表示します。
- ⑨ 室内温度ランプ 表示部に室内温度が表示されているときに点灯します。  
マイナス 10℃以下のとき、ランプが点滅します。
- ⑩ 設定温度ランプ 表示部にサーモ運転時の設定温度が表示されているときに点灯します。
- ⑪ 給油ランプ 油タンクの燃料が少なくなったときに点滅します。  
点滅発生 60 分後、火力 1 運転を行い、アラーム音が 2 分間隔で鳴り、自動消火します。
- ⑫ 警報ランプ 正常に運転を開始しない、または異常により停止したときに点滅します。
- ⑬ 電源ランプ 電源が通電されているときに点灯します。
- ⑭ 火力表示 運転中に現在の火力（5 段階）を表示します。  
設定されている火力のランプが点灯します。



# 3 使用方法

## 3-1. 運転準備



### 危険

- ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



### 警告

- 可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くすなど）が発生する場所、ほこり、金属粉の浮遊している場所では使用しないでください。



### 注意

- 給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。
- 電源は、単相交流100V（90～110V）を使用してください。間違った電源を使用しますと、火災、感電、故障の原因になります。
- アースコードを接続してください。接続していないまま使用すると感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って行ってください。電源コードは、無理に曲げたり、引っ張らないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
- 角度調整するときは、ヒータが冷えた状態で行ってください。高温部に触れるとやけどします。

### ★プロテクターの取り付け

本製品はプロテクターを外して梱包してあります。

やけどや火災を防ぐためにプロテクターを確実に取り付けてご使用ください。



本体に組み付けてあるネジで左右2ヶ所づつ計4ヶ所を固定してください。



上記部品は、梱包時の固定用金具です。プロテクター取り付け時に取り外しすぐに廃棄してください。

### ★給油

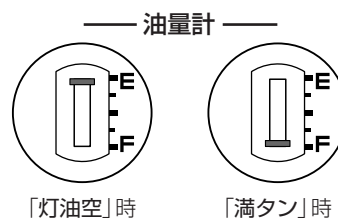
#### お願い

- 給油口ストレーナにゴミが付いていないか点検してください。ゴミが付いたら給油口ストレーナを取り出して、灯油で洗ってください。この時に使った灯油は、油タンク内にもどさないでください。故障の原因になります。
- 必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 変質灯油・不純灯油を使用した事による故障につきましては、保証の対象となりませんのでご注意ください。

1 給油口ふたを外して、給油ポンプを差し込んでください。

2 油量計を見ながら、灯油を給油してください。油量計の目盛が、「F」に近くなったら、給油を停止してください。

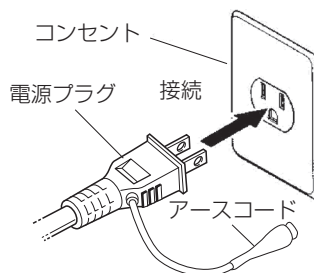
3 給油口ふたを、確実に締め、こぼれた灯油はウエスなどで拭き取ってください。



## ★電源の接続

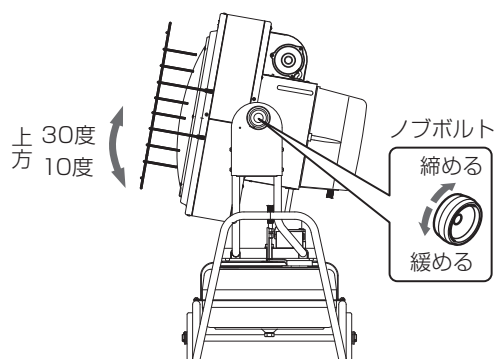
1 電源プラグをコンセントに接続してください。電源投入後、一時的に全ランプが点灯します。その後「電源」「室内温度」ランプのみが点灯し、表示部に室内温度が表示されます。

2 アースコードを接続してください。



## ★本体角度の調整

ノブボルトを緩めて上下可変ハンドルを持って本体を動かし、角度を決めたらノブボルトをしっかり締めて固定してください。放射角度は、上方10度から30度まで変えることができます。



## 3-2. 運転操作方法 .....



### 注意

- におい、煙の発生など異常な燃焼を起こした時は、直ちに使用を中止し販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。
- 点火操作を4回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。
- ヒータを使用する時は、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。
- 油タンク内が汚れたまま運転をしないでください。着火不良や異常な燃焼を起こす原因になります。



### 注意

- 短時間運転（10分以下）の繰り返し運転はしないでください。バーナ内にカーボンがたまり、点火不良の原因になります。

## ★点火操作

### お願い

- 着火の確認をするまで、離れないでください。火が付いていない可能性があります。

1 油量計で燃料が入っていることを確認してください。

2 運転 入 / 切 ボタンをおしてください。運転ランプが点灯しメロディーが流れ燃焼ファンが回転を始めます。約 30 秒後に着火します。着火と同時にサーキュレーターが回転を始めます。

3 着火後約 1 分 40 秒間は、火力固定（火力 3）で予備燃焼します。

4 予備燃焼終了後、設定の運転モードで燃焼を行います。運転モードを設定しない場合は、自動的にエコモード EC で運転を行います。サーモ運転、手動運転を行う場合は、ボタンを押してください。

### 着火しなかった場合の再度の点火操作

一度、消火操作を行い、運転ランプが消灯した後に、点火操作を行ってください。

## ★ 燃焼量

燃焼量は、火力1～火力5（弱～強）の5段階です。手動運転の場合は、調整ボタンで燃焼量を設定することができます。

## ★ タイマー設定

- 1 運転中にタイマーボタンを押しますと、タイマー設定することができます。  
運転時間は、「連続」「1時間」「4時間」の設定ができ、設定した部分のランプが点灯します。
- 2 「1時間」または「4時間」に設定した場合、時間が過ぎると自動的に燃焼が停止します。

## ★ 首振り運転



**注意**

- 首振り範囲内に転倒しやすい物を置かないでください。  
首振り動作により接触転倒します。
- 電源コード等は、余裕をもってたるませてください。

首振 入/切 ボタンを押しますと、ランプが点灯し本体が左右自動首振りを開始します。  
首振 入/切 ボタンをもう1度押しますと、首振りが停止します。  
運転 入/切 ボタンを押して燃焼を停止させても、首振りは停止しません。  
タイマー設定した場合は、設定した時間にそって首振り運転も停止します。

## ★ 消火操作



**注意**

- 消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。
- 電源プラグを引き抜いて消火しないでください。また、ヒータが完全に停止するまで電源プラグは引き抜かないでください。ヒータが過熱され、故障の原因になります。

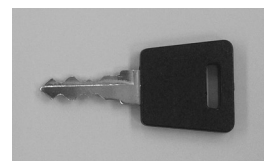
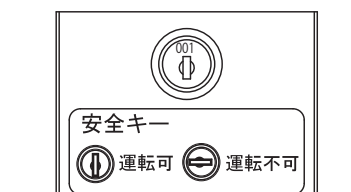
### お願い

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、送風ファンが停止したことを確認してください。

運転 入/切 ボタンを押してください。メロディーが流れ、燃焼が停止し、約5分後に燃焼ファン、サーキュレーターが自動的に停止し、ランプが消灯します。

## ★ 安全キーの説明

安全キーとは、管理者以外が使用できないように抜き挿しができるキーのことです。安全キーを「運転不可」位置にした状態で運転を開始すると、警報が出て運転ができません。キーの紛失に注意してください。



## ★ 省電力モードの説明

ヒータが停止している状態で、何も操作しない状態が5分間継続すると、「省電力モード」となり、電源ランプを除く全てのランプが消灯します。省電力モード中にいずれかのボタンを押すと、省電力モードが解除され、室内温度ランプ及び、室内温度を表示します。

## 3-3. 運転モードの説明.....

### ★ エコモード EC

運転開始時の室内温度に応じて運転パターンを決定します。（運転開始後、室内温度が変化しても運転パターンは変わりません）

#### 操作方法

運転中にエコモードECボタンを押してください。ランプが点灯し運転モードが切り替わりません。

#### 運転パターン

室内温度	運転パターン
-1℃以下 (表示:Lo)	火力5で60分間燃焼後、火力1で燃焼継続
0～9℃	火力5で30分間燃焼後、火力1で燃焼継続
10℃以上	火力1で燃焼継続

### ★ 手動運転

設定した火力で運転を続けます。

（火力は5（強）～1（弱）の5段階で設定できます）

#### 操作方法

運転中に手動運転ボタンを押してください。ランプが点灯し運転モードが切り替わります。調整の「上げる」・「下げる」ボタンで、お好みの火力に設定してください。

### ★ サーモ運転

設定した温度になるように、自動的に火力を調整します。

（室内温度の設定範囲は5℃～30℃です）

#### 操作方法

運転中にサーモ運転ボタンを押してください。ランプが点灯し運転モードが切り替わります。調整の「上げる」・「下げる」ボタンで、お好みの温度に設定してください。

#### 運転について

- ・運転スイッチの切り忘れ防止のため、サーモ運転に切り替えた場合、自動的にタイマーが4時間に設定されます。
- ・設定温度に対し室内温度が2℃以上高い場合は、自動的に燃焼を停止します。また、設定温度に対し室内温度が2℃以上低くなった場合は、自動的に燃焼を開始します。

# 4 点検方法



## 注意

- 点検・手入れをするときは、必ず消火し、電源プラグを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 本体を掃除する時は、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。

## お願い

- 給油口ストレーナの洗浄に使った灯油を油タンクに入れたり、油タンク内の点検時に取り出した汚れた灯油を油タンクに戻さないでください。故障の原因になります。

## 4-1. 日常の点検と手入れ .....

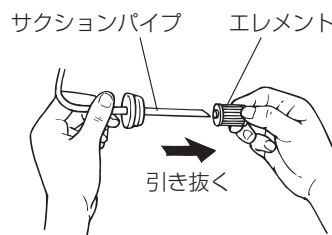
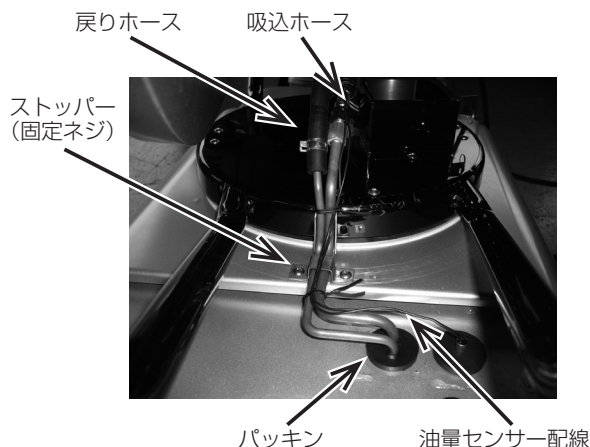
### ★ 給油口ストレーナ汚れ点検

- 1 給油口ふたを外し、給油口にはめられている給油口ストレーナにゴミがついていないか点検してください。
- 2 給油口ストレーナにゴミがついていたら、給油口ストレーナを取り出して灯油で洗ってください。
- 3 給油口ストレーナを給油口にはめ込み、給油口ふたを確実に締めてください。



### ★ エLEMENTの交換

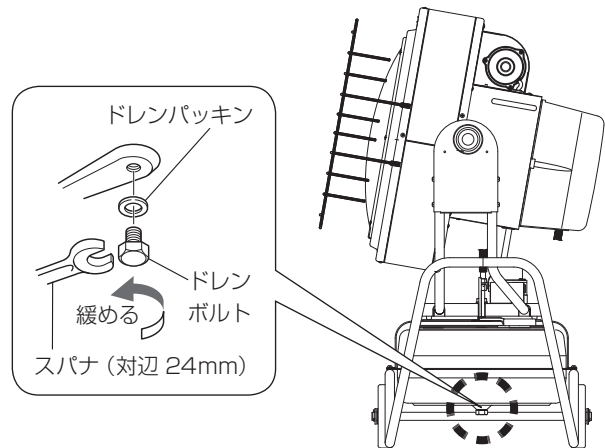
- 1 戻りホース、吸込ホース、油量センサー配線を取り外し、サクシオンパイプ・戻りパイプを固定するストッパーのネジを外してください。
- 2 マイナスドライバーで、パッキンをサクシオンパイプとともに油タンクから抜きます。タンクから抜く時、ELEMENTが油タンク内に落下ないように注意してください。
- 3 ELEMENTが汚れている場合は、新品と交換してください。ELEMENTをパイプに差し込む時は、パイプの端面に突き当たるまでELEMENTを差し込んでください。
- 4 サクシオンパイプを油タンクに差し込む時は、油漏れないようにパッキンをしっかり差し込み、ストッパーでサクシオンパイプを固定してください。



## ★ 油タンクの水抜き

- 1 給油口ふたを外し、給油口ストレーナを外して、給油ポンプを差し込んでください。
- 2 給油ポンプが油を吸い込まなくなるまで、灯油を抜き取ってください。
- 3 給油口ストレーナをはめ、給油口ふたを確実に締めてください。
- 4 給油ポンプで取りきれなかった灯油または水の混じった灯油を排出しますので、約3L分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いてください。
- 5 次に、ドレンボルトをスパナなどで外し、油タンクをドレン側に傾けて、完全に排出してください。（この時、ドレンパッキンをなくさないように注意してください。）

- 6 ドレンボルトにドレンパッキンを入れ、パッキンが密着し、油漏れがないように確実に締めてください。
- 7 油タンクに付いた灯油や水は、ウエスなどで拭き取ってください。



## ★ 感震器の作動点検

- 1 燃焼しているヒータの移動ハンドルを持ち、上下または左右に揺すってください。
- 2 感震器が作動して、自動的に消火するか確認してください。
- 3 作動しない場合は、消火後、販売店に連絡してください。

## ★ 本体の汚れ点検

- 1 ヒータ本体周りにゴミやほこりがたまっていないか、点検してください。
- 2 ほこりがたまっている場合は、掃除機で吸い取るか、ウエスなどで拭き取ってください。

## 4-2. 定期点検 .....

長時間で使用になりますと、機器の点検が必要です。

2シーズンに1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店、またはサービス店に点検依頼してください。

# 5 保管方法



### 注意

- 保管する時、または長期間使用しない時、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。

保管される場合には、電源プラグをコンセントから抜き、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。

## ★ 修理サービスを依頼される前に、下記の点検をお願いします。

下記の項目以外、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所（巻末参照）へお知らせください。その際に、症状の他、ヒータの型式名、製造番号をお知らせください。製造番号は、本体側面に貼付してある「仕様ラベル」に記してあります。

症 状	原 因	処 置 方 法
全く動かない (表示も出ない)	電源が入っていない。停電している。	電源を入れてください。
全く動かない (表示は出る)	安全装置が作動している。	安全装置を確認してください。(下記表参照)
着火しない	油タンクに灯油がない。	給油してください(P.9参照)
	油タンクに水が入っている。	油タンクの水抜きをして、きれいな灯油を入れてください。(P.14参照)
	エレメントが詰まっている。	エレメントの点検と交換をしてください。(P.13参照)
途中失火する	安全装置が作動している。	安全装置を確認してください。(下記表参照)
	燃料が不良である。	油タンクを掃除し、きれいな灯油を入れてください。(P.9参照)
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください。(P.13参照)

次のような現象のときは異常ではありません。修理サービスをお申し付けになる前に、もう一度確認してください。

症 状	原 因
初めて使用のとき、煙やにおいがでる	ほこりや油分などが焼けるためです。しばらくするとなくなります。
白煙が出る	放熱部で燃焼ガスが冷却されて出る水蒸気です。異常ではありません。
点火時ににおいが出る	異常ではありません。
点火時、および消火時に「ピチピチ」と音がする	バーナ部の膨張収縮音です。異常ではありません。
消火時ににおいが出る	バーナ内部の未燃ガスで多少のにおいは出ます。異常ではありません。

## ★ エラーコードと処置方法

ヒータの異常に対して作動した安全装置に応じて警報ランプが点滅し、表示部にエラーコードを表示します。

エラーコード	原 因	処 置 方 法
00 停電停止	運転中に停電があった。	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、電源を再投入してください。
01 感震器 安全キー	設置面床が傾いている。	振動や衝撃による本体の損傷がないか確認後、周囲の安全を確認し電源を再投入してください。
	振動を検知した。	
02 過熱防止器	バーナまたは本体の異常過熱を検知した。	キーで「運転可」側にしてください。
		本体下部の吸気口に異物がないか確認してください。繰り返し発生する場合は、異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
03 着火ミス	点火動作中に炎を検知しなかった。	エレメントの交換、油タンクの清掃を行い、きれいな灯油を使用してください。繰り返し発生する場合は、異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
04 着火ミス	点火動作中に正常に着火しなかった。	
05 途中失火	燃焼中に火が消えた。	
06 センサー異常	運転開始前に炎を検知した。	バーナ内に炎がないことを確認して、販売店に連絡してください。
07 連続着火ミス	着火ミスを4回連続で検知した。	エレメントの交換、油タンクの清掃を行い、きれいな灯油を使用してください。繰り返し発生する場合は、異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
08 ファン回転異常	燃焼ファンモータの回転異常を検知した。	繰り返し発生する場合は、販売店に連絡してください。
09 室温センサー断線	室内温度センサーの断線を検知した。	使用を中止し、販売店に連絡してください。
10 室温センサー短絡	室内温度センサーの短絡を検知した。	
11 低電圧異常	電源電圧が低い。	正常な電源に接続し、電源を再投入してください。
12 高電圧異常	電源電圧が高い。	
13 周波数異常	電源周波数が不安定。	
14 基板異常	制御基板の回路異常を検知した。	
給油ランプ点滅	油タンクに灯油がない。	給油してください。

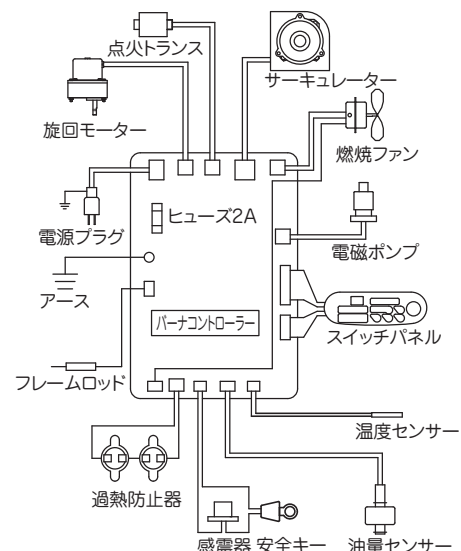
## ★ 安全装置の説明

<b>停電時安全</b>	<p>運転中の停電発生から電源が復帰したとき、自動的に運転を開始することを禁止します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「00」が表示され、待機状態になります。</p>
<b>耐震自動消火 (感震器)</b>	<p>運転中に振動や衝撃を受けたとき、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「01」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>過熱防止 (過熱防止器)</b>	<p>ヒータが異常に過熱したときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「02」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>炎監視 (フレイムロッド)</b>	<p>点火ミスや燃焼中に失火したときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「03~05」が表示され、5分間のポストパーズを行います。</p> <p>点火前にフレイムロッドの異常を検出したときに、運転を停止します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「06」が表示され、待機状態になります。</p>
<b>連続着火ミス検知</b>	<p>4回連続で着火できなかったときに、自動的に点火操作を禁止します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「07」が表示され、5分間のポストパーズを行い、点火操作ができません。</p>
<b>ファン回転異常検知</b>	<p>運転中に燃焼ファンモータの回転に異常が生じたときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「08」が表示され、5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>室温センサー監視</b>	<p>運転中室内温度センサーに断線が生じたときに、自動的にで消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「09」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパーズを行います。</p>
	<p>運転中室内温度センサーに短絡が生じたときに、自動的にで消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「10」が表示され、燃焼固定で1時間運転を継続し、その後自動的に消火し5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>低電圧監視</b>	<p>運転中に電源電圧が異常に低くなったときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「11」が表示され、燃焼固定で1時間運転を継続し、その後自動的に消火し5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>高電圧監視</b>	<p>運転中に電源電圧が異常に高くなったときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「12」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>周波数監視</b>	<p>運転中に電源周波数が異常になったときに、自動的に消火します。</p> <p>● 作動状態：警報ランプが点滅し、表示部に「13」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>油切れ検知 (油量センサー)</b>	<p>運転中に油タンク内の灯油の量が少なくなったときに、自動的に消火します。 (待機中に検知した場合は運転を禁止します)</p> <p>● 作動状態：給油ランプが点滅し、燃焼固定で1時間運転を継続し、その後自動的に消火し5分間のポストパーズを行います。</p>
<b>過負荷保護 (ヒューズ)</b>	<p>機器の故障などの異常によって過電流が流れたときに、電源を遮断します。</p> <p>● 作動状態：全停止します。</p>

## 7 仕様

形 式	VAL6 SR
種 類	放射式・直火形
点 火 方 式	高圧放電点火
使 用 燃 料	灯油 (JIS 1 号灯油)
燃 料 消 費 量	4.2 ~ 2.5 L / h
熱 出 力	40.7 ~ 24.3 kW
油 タンク 容 量	45 L
燃 焼 持 続 時 間	11時間 (最大レベル燃焼時)
外形寸法 (mm)	高さ 1044 × 幅 1062 × 奥行 675 楕円ディスク φ 480 × φ 680
質量 (タンク空時)	61 kg
電 源 電 圧	AC100 V [50 / 60 Hz]
消 費 電 力	点火時：105 / 123 W 燃焼時：115 / 122 W [50 / 60 Hz]
ヒ ュ ー ズ	ガラス管ヒューズ 2 A 125 V (φ 5.2 × l 20)
運 転 音	57 dB (A) [最大]
安 全 装 置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護・過熱防止・油切れ検知・異常電圧検知・ファン回転異常検知・停電時安全・異常周波数検知・室温センサー監視

## 配線図





# 8 安全ラベルの一覧

安全ラベルは、ヒータを安全にお使いになるために重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。

## 取扱注意ラベル

**▲ ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。**

**警告**

- 点火操作を4回繰り返しても着火しない場合は、それ以上操作できなくなります。燃料切れの場合は給油・電源再投入後に再点火操作をしてください。それ以外の場合は販売店に連絡してください。
- スプレー缶などの密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。
- 可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。
- 燃焼中や消火直後は放熱部、及び放熱部周囲は高温になっています。手など触れないでください。

**注意**

- 放熱部の前方及び上方の可燃物から2.5m以上離してください。
- 雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。
- ヒーターを使用するときは床面が高温にならないように注意してください。木製床の場合は必ず別売のミラーシートをご使用ください。
- 給油は必ず消火を確認してから行ってください。
- ヒーターを火のついたまま移動しないでください。

**運転の手順**

**点火**

- 「運転 入/切」ボタンを押すと燃焼ファンが回転し、約30秒後に燃焼を開始します。
- 「運転 入/切」ボタンを押すと燃焼は停止します。約5分間、燃焼ファン・送風ファンが回転し、その後自動的に停止します。
- 「首振 入/切」ボタンを押すと首振りを運転、停止することができます。運転スイッチとは運動していません。

**エコモードEC**

運転開始後、自動でエコモードEC運転をします。運転開始時の室温に応じて運転を行います。

**サーモ運転**

「サーモ運転」ボタンを押して、調整ボタンの「上げる」「下げる」ボタンを押し、お好みの温度に設定します。自動で火力調整します。

**手動運転**

「手動運転」ボタンを押して、調整ボタンの「上げる」「下げる」ボタンを押し、お好みの火力に設定します。5段階の火力調整ができます。

表 示	内 容	表 示	内 容
01	感震器	07	連続点火ミス
	安全キー	08	ファン回転異常
02	過熱	09 / 10	室温センサー異常
03 / 04 / 05	失火	11 / 12 / 13	電源異常
06	センサー異常		給油ランプ 燃料切れ

## 本体全面高温注意ラベル

**本体全面  
高温注意**



## 床面温度注意ラベル

**注意**

**木製床上でのご使用に関する注意事項**

体育館等の木製床でのヒーターご使用は床面の变色、そり等の原因になる可能性があります。床面材質が木、樹脂製の場合は別売の「ミラーシート」をご使用ください。

)PET( 50255-201-038

## 安全キーラベル

**安全キー**

運転可
 運転不可

## 給油注意ラベル

**危険**

**ガソリン厳禁**

必ず灯油（JIS1号）を使用してください。

**エレメントの手入れ**

- 戻りホース、吸込ホースを取り外してください。サクシヨンパイプ・戻りパイプを固定する、ストッパーのネジを外してください。
- (-) ドライバーで、パッキンをサクシヨンパイプとともに油タンクから抜きます。
- タンクから抜く時、エレメントが油タンク内に落下しないように注意してください。
- エレメントをパイプから抜き、灯油で洗ってください。汚れが著しい場合は、新品と交換してください。
- エレメントをパイプに差し込む時は、パイプの端面に突き当たるまでエレメントを差し込んでください。
- サクシヨンパイプを油タンクに差し込む時は、油漏れしないようにパッキンをしっかり差し込み、ストッパーでサクシヨンパイプを固定してください。



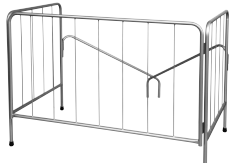
)PET< 50349-203026

## 9 アフターサービス

- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。  
なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
  - (1) 使用摩耗や経年変化により発生する現象  
例) ノズル、エレメントなどの消耗、劣化
  - (2) 誤使用による故障  
例) 電源 200V 使用による電気部品の焼損
  - (3) 弊社規格内の製品の性能等が、一般的に認められる範囲である場合  
例) 運転音、燃料消費量など
  - (4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品腐食  
例) 畜舎などアンモニアガス等の発生する場所
- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。  
販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。  
この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
  - (1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
  - (2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

## 10 別売部品について

VAL6SR (バルシックスエスアール) に取り付けることのできる別売部品は次のものです。

<b>オイルタンク 95L</b>	別置きでタンクを取り付けることができます。 専用タンクでは、容量が足りないときに使います。 ※ オイルレベラが必要になります。	
<b>ミラーシート</b>	床面が木造などの場合、放射熱から床面を保護するために使用します。	
<b>ガードフェンス大型</b>	燃焼時、安全用防護柵として使用します。	



### 注意

- 別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。  
工具などの金属部分が電装部品に触れますと、感電・破損のおそれがあります。



# 製品保証書 [保証期間 1年]

型式：VAL6 SR	製造番号：—
お客様記入欄	販売店様記入欄
お名前	販売店様名称 印
ご連絡先	
ご購入日	販売店様連絡先

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- |                                                              |                                                                             |
|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。 | (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。                                             |
| 尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。     | (イ) 保証書の提示がない場合                                                             |
| (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。                               | (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合                                                      |
| (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等     | (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等)                 |
| (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等          | (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。                              |
| (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等                           | (5) お客様がご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。 |
| (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象                                       | (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。                                       |
| (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合                         | (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。                                                |
| (ヘ) その他上記に準ずるもの                                              |                                                                             |

【 This warranty is valid only in Japan. 】

**静岡製機株式会社**



● 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

**静岡製機株式会社** URL : <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 TEL (011) 782-5294 (代) FAX (011) 782-8258	関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10番8号 TEL (06) 6432-7880 (代) FAX (06) 6432-7487
東北営業所	〒989-6136	宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号 TEL (0229) 23-7219 (代) FAX (0229) 21-1464	九州営業所 駐在	〒835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門1841-1 TEL (0944) 88-9136 FAX (06) 6432-7487
関東営業所	〒175-0094	東京都板橋区成増1丁目17番2号 TEL (03) 6904-3786 (代) FAX (03) 6904-0302	産機営業部 産機営業企画課	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300 TEL (0538) 23-2825 FAX (0538) 23-2890
中部営業所	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300 TEL (0538) 23-1605 (代) FAX (0538) 23-1608			



インキはベジタブルインキを使用しています。弊社では、地球にやさしい印刷物を常に考えています。